

楊名時師家生誕 100 年記念

中部ブロック大会 in みえ

三重県支部設立 25 周年記念大会

10 月 12 日（日）13：00 から三重県営サンアリーナにおいて開催されました。

楊慧副理事長、荒川実行委員長、佐治副実行委員長、川口セレモニー担当班長、柳澤本部推薦理事、竹守中部・関西ブロック担当理事、中部ブロック愛知・三重・岐阜・石川・静岡の支部長、楊名時太極拳事務所 楊理奈様、日本健康太極拳協会事務局撮影班 3 名の方々にお越しいただき、総勢 1306 名が参加されました。木遣りの伸びやかな歌声に始まり伊勢本町春木太鼓の演奏がアリーナいっぱいに響きました。その熱いエネルギーの満ちた中で、東京大会と同様に「心」・「息」・「動」の 3 つのパートからなる大会がスタートしました。



第 1 部「心」

まず川口三重県支部長が三重県で楊名時師家生誕 100 年を祝えること、そして三重県支部が 25 周年（同好会より 45 年）を迎えたことの喜びを述べ、楊名時太極拳の素晴らしい理念をつないでいくことを力強く誓いました。

荒川実行委員長が祝辞の中で愛知県が東京から全国に仲間が広がる最初の拠点であったこと、楊名時師家は角谷三重県同好会会長とは親交が深く三重県にも格別な思いを寄せておられたことを話されたのは、私たちにとっては大変嬉しいことでした。

続いて楊進理事長、楊崇師範、楊玲奈師範からは心のこもったビデオメッセージをいただいた後、楊慧副理事長からは、「比べない、競わない」楊名時太極拳の心と楊名時師家の願いを会場の一人ひとりに向けて優しく伝えて頂きました。次の100年に繋ぐという強い意志を持って凜と立っていらっしゃる姿からは大きな力を頂きました。



第2部「息」

東京大会の映像を見た後、本部から各支部に頂いた記念ペナントの披露と「誓いの言葉」の宣誓が行われました。鈴木愛知県支部長の先導で会場の方々も一緒に宣誓をして、楊名時八段錦・太極拳とそこに込められた師家の想いをこれからもずっと引き継いでいこうという決意を新たにしました。

その後、師家の歩みをまとめた「太極の道」が上映され、師家のことをさらに深く知ることができました。

最後に竹守顧問に楊名時師家と三重県支部にかかわるお話を映像とともにしていただきました。三重県同好会を立ち上げ三重県支部の土台を築かれた角谷幸雄師範との強い絆、1994年の伊勢神宮奉納演舞のこと、そして懇親会でみんなと一緒に伊勢音頭を踊られる師家と慧先生のお姿を拝見することもできました。今は亡き恩師や多くの先輩方のことが思い出されて胸が熱くなりました。

第3部「動」

第1部と2部は2階の観覧席で参加していた1300人ほどの仲間たちがフロアに降りて実技を行いました。立禅・甩手・八段錦前半・二十四式の演舞を行いました。道衣のすれる音だけの静かな会場に慧先生のお声が響き全体が一つの生命体になったように感じられました。次に慧先生、支部長、来賓の方々が中心の円となって百花拳の演舞が行われました。荒川実行委員長が「白とオレンジのグラデーションが秋の

コスモスのようです。」とおっしゃったとおり愛知県支部のオレンジ色のTシャツと三重県支部の白が対をなしていました。こうしてみんなで舞うことができる楊名時太極拳の素晴らしさとたくさんの仲間がいる喜びで心が震えました。



中部ブロック以外からもたくさん来てくださり素晴らしい大会になりました。楊名時太極拳事務所でお世話になっている楊理奈さんも来てくださいました。スタッフにも温かい言葉をかけていただきとても嬉しかったです。協会事務局からはビデオ撮影のために3人の方が来てくださいました。ありがとうございます。奥様と娘さんと一緒に参加された会員さんもありました。会員以外の参加もまたうれしいことの一つでした。

三重県支部設立 25 周年を記念して「三重にまつわる楊名時師家の写真展」と題し写真や師家の著書、三重

県支部の歩みなどをアリーナ入り口のスペースに展示させていただき、たくさんの方が師家のお写真と一緒に記念撮影をされていました。



川口支部長の「A 明るく、T 楽しく、M 前向きに」

というスローガンのもとで大会スタッフ一同
心ひとつになって、とてもいい経験をさせて
いただきました。

謝謝

